

ごみ減量チャレンジ・モニター実践活動紹介

事業者との連携 グループ

グループからのメッセージ

私たちは、商品の容器や包装に着目しました。消費者の視点、事業者の視点から、容器包装について調査、研究を進めています。容器包装の減量化には、事業者の取り組みに加え、消費者一人ひとりの意識と行動が大切だと感じます。



容器や包装に対する意見が活発に飛び交います



先進的な取り組み事例を視察

大学生とメーカーやスーパーが協働で容器包装ごみの削減をめざすプロジェクト『減装ショッピング』を見に行きました。

ある日のミーティング

- Aさん：皆さん、スーパーやメーカーに問い合わせて、いかがでしたか。
- Bさん：「なぜ、この包装が必要なの」という素朴な疑問を探ることから始めたけれど、衛生面や製品保持のため必要といった理由もありました。
- Cさん：「ごみ減量に取り組むことは、企業にもコスト削減や企業イメージ向上などメリットがある」とも言われていました。
- Dさん：「簡易包装にすると、見栄えがしないので売り上げに影響する」という声もありました。
- Eさん：消費者である私たちが意識を変えて商品を選ぶことも必要ですね。

当グループでは、研究の結果を踏まえて、容器包装ごみの削減に向けた具体的な取り組みを進めていく予定です。

ごみの減量めざして、 活動中！

ごみ減量の取り組みを拡大することをめざして、公募で集まった市民の皆さんが「ごみ減量チャレンジ・モニター」として実践活動に取り組んでいます。

今年度は「市民講座企画」「事業者との連携」「生ごみの堆肥化」の3つのテーマで、企画や調査研究を進めています。それぞれのグループの取り組みを紹介します。



ごみ減量の取り組みを広げるためには、人と人のネットワークがとても大切。まず、チャレンジ・モニター同士がお互いを知るため、ワークショップをして交流を深めました。



ごみを減らすために、まず私たちが具体的に行動しよう。そして、私たちの実践の輪を広げていこう。

市民講座企画 グループ

生ごみの堆肥化 グループ

グループからのメッセージ

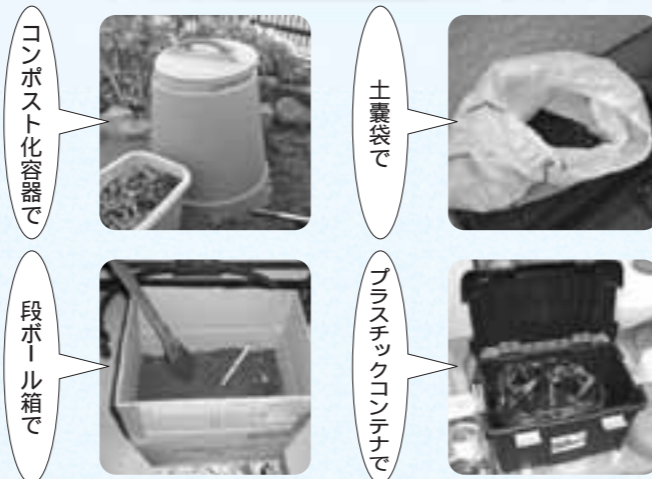
生ごみは「ごみ」ではなく大切な「資源」です。多くの方が生ごみの堆肥化に取り組めるよう、できるだけ安価で手軽に堆肥化する方法を研究しました。また、続けるためには楽しみながら実践することが大切なので、堆肥化の喜びや楽しさを伝えていきたいと思っています。



堆肥化の方法を情報交換する皆さん

当グループでは、それぞれの容器を使った堆肥化の方法や実践記録をまとめて、堆肥化の参考にしてもらいたいと考えています。

どの
「コンポスト化容器」「土嚢袋」「段ボール箱」
「プラスチックコンテナ」の
4つの容器で堆肥化を実践中。



着られなくなったスカートや靴下を持ち寄って、小物を試作中



あっという間に素敵なシュシュ(髪留め)に生まれ変わりました

グループからのメッセージ

私たちは「子ども達にごみ減量に関心を持ってもらいたい」という思いから、親子講座を企画しました。皆でアイデアを出し合って、子どもが楽しんで参加できるよう工夫しています。ぜひ、親子でご参加ください。

「ごみ減量チャレンジ・モニター企画親子講座」
～国崎クリーンセンター見学&小物づくり～

8ページをご覧ください



何よりも「楽しい」講座にしたい

ごみの減量や再使用が目に見えて分かる講座にしよう

「簡単」で「安全」にできることも大切

国崎クリーンセンターも見て欲しい

親子で一緒に取り組めるものがないね